



みらかホールディングス株式会社
2011年度(2012年3月期)
第2四半期決算説明会

2011年 11月 4日



2011年度 第2四半期累計(上期)
業績と要因

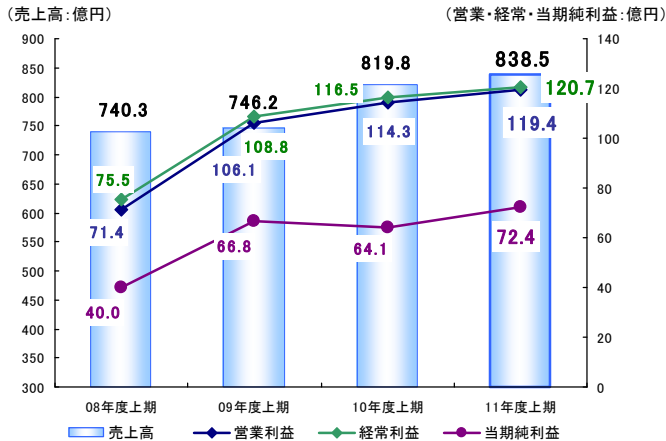
※ 本資料では、数値は原則的として表示数値の単位未満を四捨五入しております。

※ 数値は四捨五入の関係で合計と一致しない場合があります。

2011年度 上期 業績概要

(単位:億円)

	2010年度 上期		2011年度 上期		対前年 増減 率(%)		2011年度上期 業績予想		対予想 増減 率(%)	
	売上高	営業利益 (率)	経常利益 (率)	当期純利益 (率)	増減	率(%)	増減	率(%)	増減	率(%)
売上高	819.8				18.7	2.3%	861.0	-22.5	-2.6%	
営業利益	114.3	13.9%	119.4	14.2%	5.1	4.5%	112.0	7.4	6.6%	
経常利益	116.5	14.2%	120.7	14.4%	4.2	3.6%	113.0	7.7	6.8%	
当期純利益	64.1	7.8%	72.4	8.6%	8.3	12.9%	62.5	9.9	15.8%	



売上高、各利益ともに
過去最高を更新。
ただし、売上高は期初
予想を未達。

2

2011年度 上期セグメント別業績

(単位:億円)

	2010年度 上期実績	2011年度 上期実績	対前年増減	対通期業績予想 進捗率
売上高	819.8	838.5	18.7 (+2.3%)	48.2%
臨床検査薬事業	159.6	185.0	25.4 (+15.9%)	44.9%
受託臨床検査事業	522.1	514.9	-7.2 (-1.4%)	48.8%
ヘルスケア関連事業	138.1	138.6	0.5 (+0.4%)	51.0%
営業利益	114.3 (13.9%)	119.4 (14.2%)	5.1 (+4.5%)	54.3%
臨床検査薬事業	40.4 (25.3%)	42.3 (22.9%)	1.9 (+4.7%)	53.5%
受託臨床検査事業	57.7 (11.1%)	59.8 (11.6%)	2.1 (+3.6%)	52.2%
ヘルスケア関連事業	16.1 (11.7%)	16.9 (12.2%)	0.8 (+5.0%)	63.8%

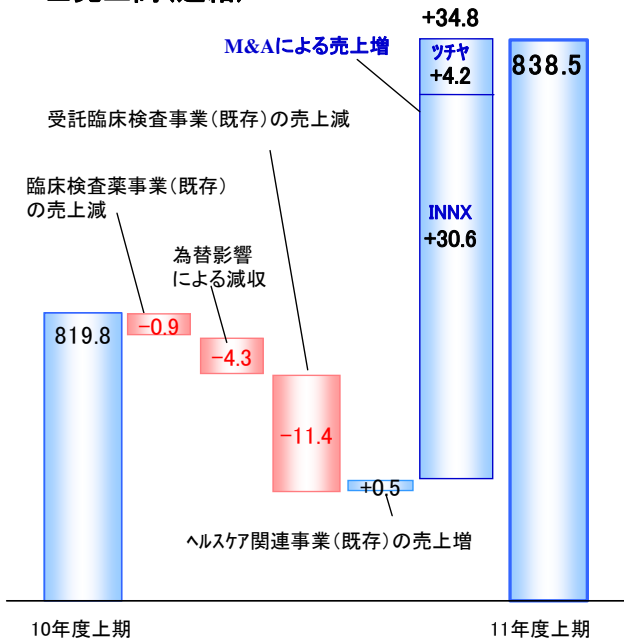
(*) 消去又は全社営業利益 0.2億円を含んでおります。 (**) 消去又は全社営業利益0.4億円を含んでおります。

3

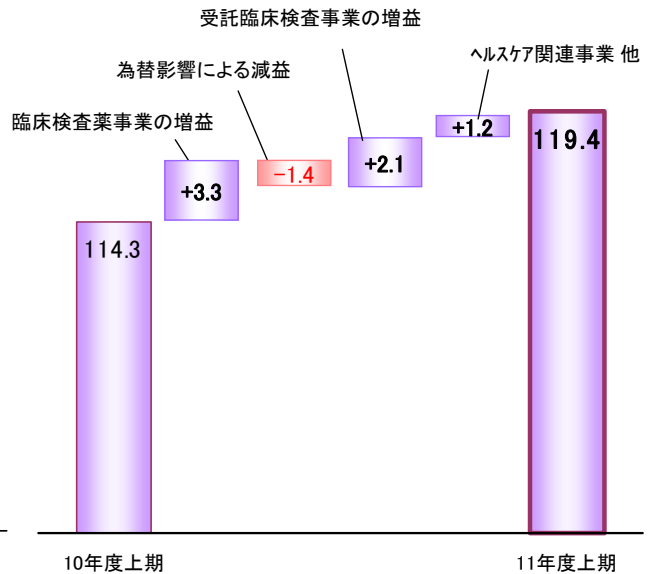
2011年度 上期業績 対前年同期増減の主な要因

売上高 +18.7億円(+2.3%)、営業利益 +5.1億円(+4.5%)の増収増益

■売上高(連結)

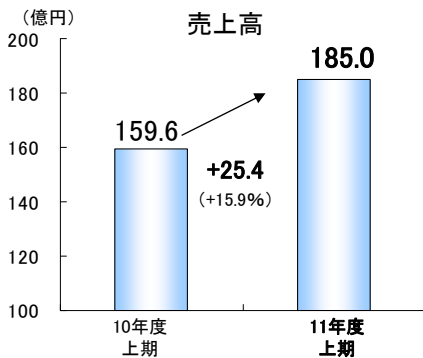


■営業利益(連結)



2011年度 上期業績の概要(対前年同期)

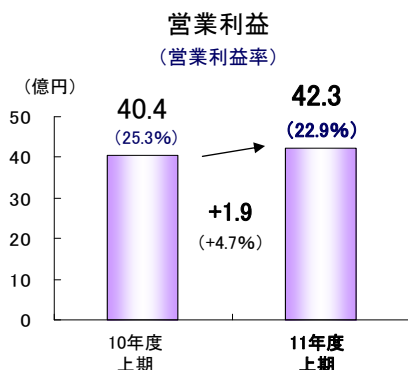
1. 臨床検査薬事業



増収、増益

◆売上高 +25.4億円

- ・INNEX社(10年9月買収)連結による売上増加: +30.6億円
 - ・為替影響による減収: -4.3億円
- (米国子会社は、現地通貨ベースでは堅調に成長)



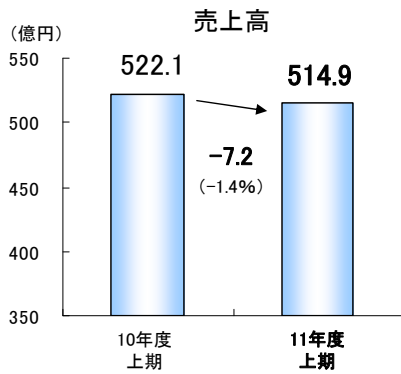
◆営業利益 +1.9億円

- ・INNEX社は経営改善が進み、のれん償却後も黒字
- ・プロダクトミックスの変動による粗利の増加
- ・為替影響による減益

※為替レート 10年度上期: 1USD=88.95JPY
11年度上期: 1USD=79.82JPY、1EURO=113.79JPY

2011年度 上期業績の概要(対前年同期)

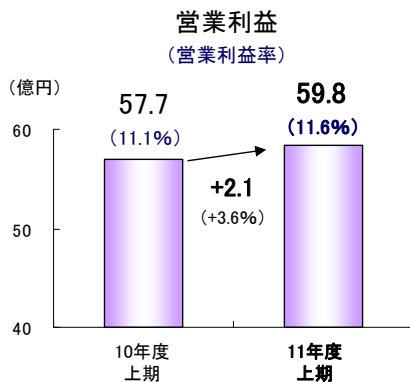
2. 受託臨床検査事業



減収、増益

◆売上高 -7.2億円

- ・院内(FMS/ブランチ): -7.1億円
病院内での自主運営化による売上減
- ・院外: 前年同期並み
震災の影響等(医療機関の被災、受診控え等)は十分にリカバーできず

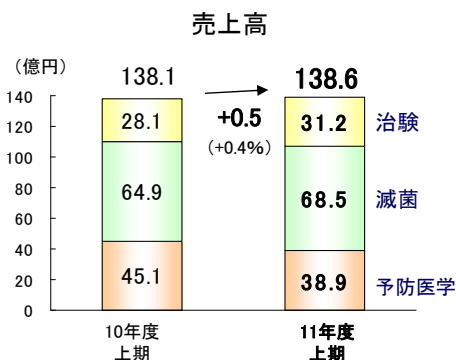


◆営業利益 +2.1億円

- ・売上減による損益への影響は僅少
- ・人件費、経費の減少による利益増

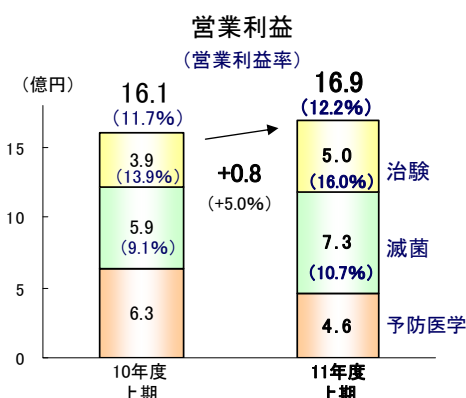
2011年度 上期業績の概要(対前年同期)

3. ヘルスケア関連事業



増収、増益

売上高 +0.5億円、営業利益 +0.8億円



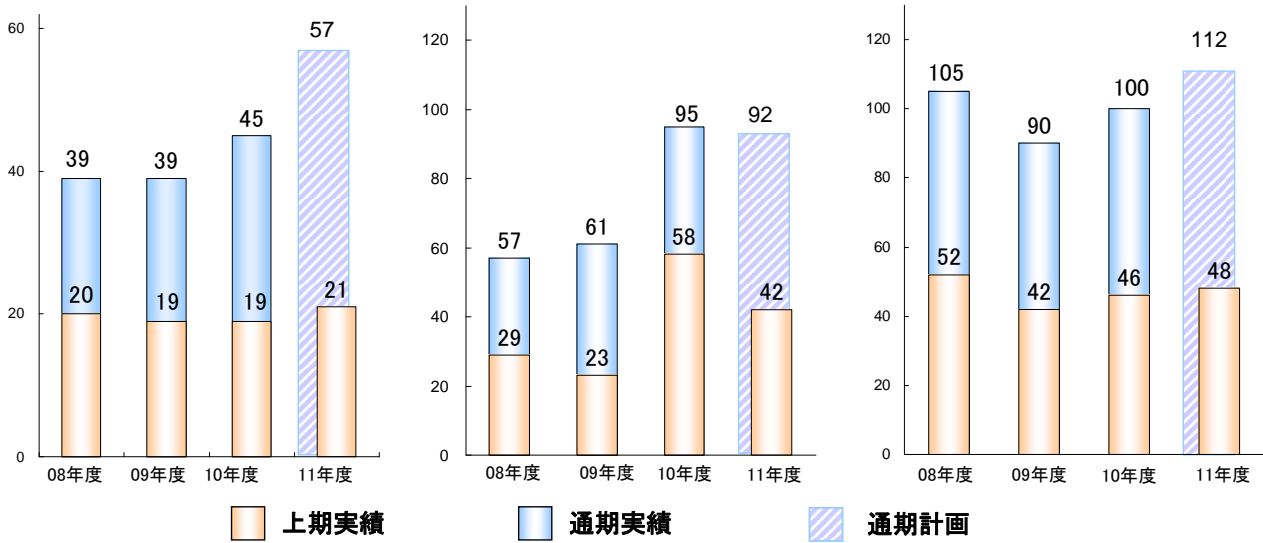
	売上高	営業利益	(増減要因)
治験事業	+3.1億円 (+11.0%)	+1.1億円 (+28.2%)	・既受注の発現により売上が順調に推移 ・業務効率化および売上増加に伴う利益増
減菌事業	+3.6億円 (+5.5%)	+1.4億円 (+23.7%)	・新規・既存施設の売上増加 ・業務効率化による増益
予防医学関連事業	-6.2億円 (-13.7%)	-1.7億円 (-27.0%)	・健康商品事業の撤退による減収減益 ・食品検査、環境検査の減収減益
計	+0.5億円	+0.8億円	

研究開発費/設備投資額の推移(連結)

■ 研究開発費 (億円)

■ 設備投資額 (億円)

■ 減価償却費 (億円)



2010年度上期の設備投資額は、富士レリオの新帯広事業所(2011年6月稼働)の土地建物取得(約9億円)により増加

連結貸借対照表の概況

(単位: 億円)

2011年 3月末		2011年 9月末	
流動資産	838	流動資産	878
固定資産	652	固定資産	627
流動負債	325	流動負債	309
固定負債	138	固定負債	131
純資産合計	1,028	純資産合計	1,065
(うち自己株式 ▲5)		(うち自己株式 ▲5)	
自己資本比率	68.7%	自己資本比率	70.5%

主な増減要因

【流動資産】 +40億円	
・現預金の増加	+19億円
・有価証券の増加	+32億円
【固定資産】 -25億円	
・無形固定資産の減少	-22億円
【純資産】 +37億円	
・当期純利益	+72億円
・配当金支払額	-18億円
・為替換算調整勘定の減少	-19億円

2011年 3月末
総資産 1,491億円
ROE 11.3%
ROA 15.1%

2011年 9月末
総資産 1,505億円

※12年3月末(見通し)
ROE 11.5%

連結キャッシュフローの概況

■ 連結キャッシュ・フロー

(億円)

	10年度上期	11年度上期
税引前当期純利益	107.5	118.0
減価償却費	45.8	47.8
法人税等の支払額	-35.7	-29.3
その他営業CF	-28.8	-15.9
営業CF	88.8	120.6
固定資産の取得	-44.3	-40.1
子会社株式取得	-112.0	0.1
その他投資CF	-3.6	-2.3
投資CF	-159.9	-42.3
FCF	-71.1	78.3
財務活動CF	-22.9	-25.4
現金同等物換算差額	-2.1	-4.3
増 減	-96.1	48.6
現金同等物 残高	298.9	379.3

【ポイント】

- 税金等調整前当期純利益の増加
- 法人税等の支払額が減少
- 10年度は子会社株式取得にかかる支出
(10年度上期はINNX社、日本臨床の2社を取得)
- FCFは大幅に増加

10

上期のトピックス

■ ツチヤ・エンタプライズの株式取得を完了し完全子会社化（2011年5月）

長野県北部地域で開業医を中心に強固な営業基盤をもつ検査センターであるツチヤ・エンタプライズを子会社化したことにより、エスアールエルの長野県地域での事業基盤を強化

株式会社ツチヤ・エンタプライズ（長野県長野市）

創 業：1973年(昭和48年)2月

従業員数：68名(2011年4月現在)

事業内容：受託臨床検査事業



■ 富士レビオ 新帯広事業所の稼働（2011年6月）

旧帯広事業所の老朽化および旧群馬メディカルアニマルセンターの移転対応として、北海道帯広市の北隣に位置する音更町に新事業所を建設

<規模>

敷地面積16,740㎡、建屋面積4,993㎡

<生産品目>

製品：抗ヒト全血清、BSE関連抗体、HbA1C抗体 など
 加工原料・中間体：抗原、抗体、標識抗体 など

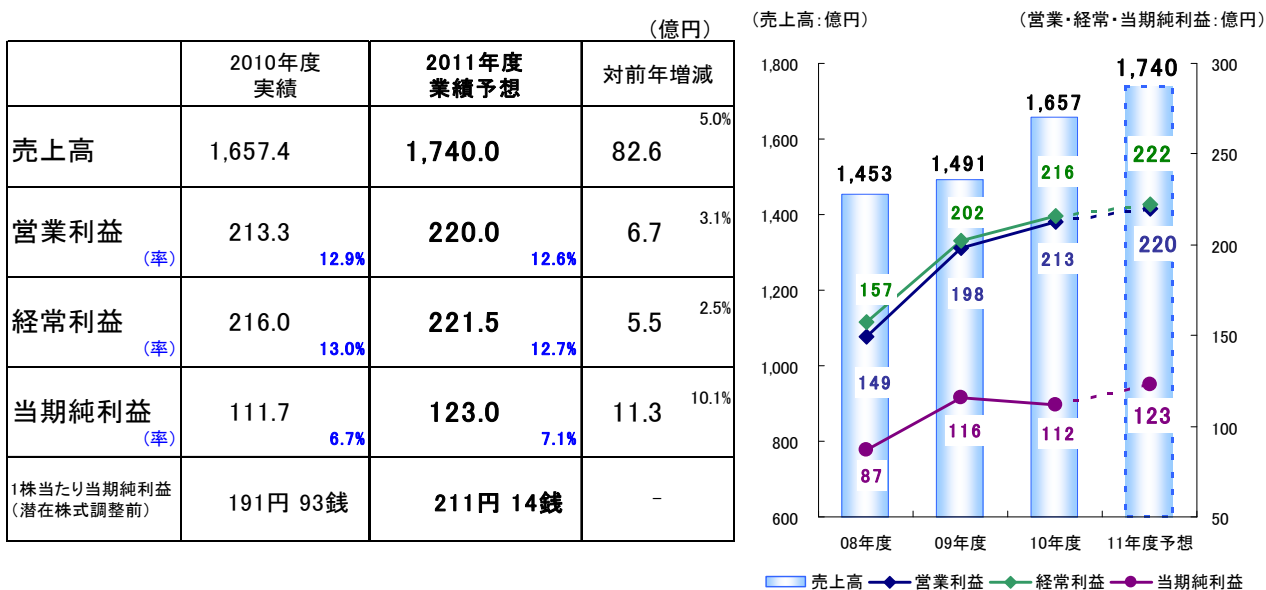


11

2011年度 通期見通しと 今後の展望

2011年度 通期見通し(連結)

- 業績予想は2011年5月9日発表時より変更なし -



※Caris Diagnostics社買収の当年度業績への影響:

売上増加に寄与、営業利益の水準の大きな変動はない見通し

(詳細については、買収後かつ企業結合の会計処理が確定した時点で公表予定)

Caris Diagnostics Inc.

- 設立：1996年(2005年に現経営陣が買収)
- 本社：米国テキサス州ダラス
- 従業員数：約760名(病理医 約70人、営業員100人以上)
- ラボラトリー：Dallas/TX, Phoenix/AZ, Boston/MA
- 事業内容：Anatomic Pathology診断サービスの提供
- 売上高：US\$ 207M (2010年12月期)、営業利益：US\$ 34M (2010年12月期)

■ 買収の目的

CLT事業のグローバル展開の第1歩として、米国での事業基盤を構築

■ 買収価格

買収総額：US\$ 725M (約580億円 為替換算レート:1米ドルあたり80円)

- ・CLS社株主への対価と対象事業の純有利子負債の返済を含む
- ・買収資金の調達：銀行借入(約350億円)+手元資金の予定

■ のれん等

買収に伴うのれん等は、年間25~30億円程度になる見込み(20年間で均等償却)

■ クロージング時期

2011年内を予定

米国・病理検査事業買収に関する補足説明

－ 買収の背景と想定される効果 －

■ MHD資本効率の改善

●自己資本比率

2010年度 68.7% → 買収完了時想定 54% ~ 56%

TOPIX Core30
平均(※2)
47.6%

●DELシオ(※1)

2010年度 0.05 → 買収完了時想定 0.35 ~ 0.40

0.75

・資金調達後も財務状態は健全なレベルを維持

■ 円高効果

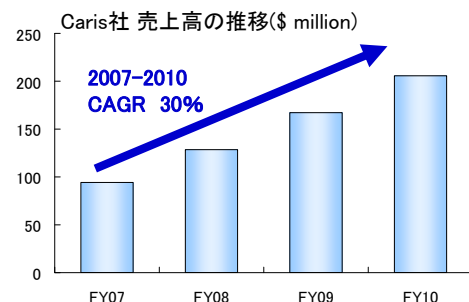
●USD為替レート

2005年度 ¥113.30 → 買収完了時想定 ¥76 ~ ¥78

MHD設立年次

・買収総額は、6年前と比較して約33%有利

■ Caris社(AP事業)の成長性



・今後は、過去数年の成長率よりペースダウンするものの、米国CLT業界平均(6~7%)を上回る水準での成長を見込む

・Depreciation and Amortization
全米展開に向けたラボ等への投資を実行済
⇒ 売上高償却比率は当社の水準を上回る
(2010年度みらか実績：6.6%)

※1: DELシオは有利子負債にて算出

※2: TOPIX Core30平均値 は bloomberg社の各社データをもとに当社で算出(金融5社除く)

受託臨床検査事業の中期戦略の変化

— 今後の事業展開の方向性 —

2011	2012	2013
------	------	------

1. ラボ機能の再構築
2. M&Aの推進(国内の業界再編)
3. 新たな製品・サービスの創出

→ **国内成長戦略として継続推進**

海外市場参入 → **グローバル展開の体制構築**

■ Caris Diagnostics Inc. を核とした米国での事業基盤の確立

- (1) 全米の大きな開業医市場での更なるシェア拡大
- (2) 全米トップクラスの病理医による最高のクオリティ維持と競争力強化
- (3) 日本国内の病理検査との相互改善交流によるシナジー実現

■ アジア市場での小規模トライアル

- (1) 中国 → 思裕(北京)医用技術有限公司(染色体検査)
- (2) ベトナム → JCLV(日本臨床の子会社)
- (3) 各国での小規模トライアルを進めながら、展開シナリオを構築する予定

■ 検査サービスのベスト・プラクティス・モデルへの“学習”

臨床検査薬事業の中期戦略

— CL事業グローバル展開の進捗 —

【基本方針】・機器: G1200、試薬: 腫瘍マーカーを中心に展開
・ユニークな試薬項目(PIVKA、HBcrAg)による差別化

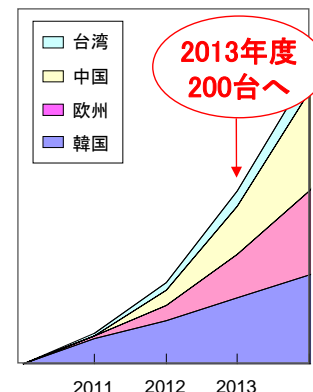
■ 2011年度上期の状況

- ① 欧州・イタリア: 11年度内上市に向けて販売・サポート体制整備、顧客訪問(FR+INNX社)
- ② アジア・韓国(10年度上市): 機器設置推進、代理店との販売協力強化、売上拡大への販促活動
台湾: 腫瘍マーカー6項目登録完了、市場参入に向けて追加登録準備
- ③ グローバル生産・台湾子会社での製造開始(12年度内目標)に向けて体制構築推進

■ エリア別進捗

販社	2011	2012	2013
韓国	10年度 40項目上市 数施設に機器設置完了	設置拡大(20~30台/年)	
欧州	INNX 子会社 + 代理店	イタリア上市へのインフラ整備	11年度内 24項目上市予定 ・試薬項目の拡大 ・欧州他国への展開
中国	代理店	試薬登録準備、臨床試験、代理店選定	上市予定
台湾	台湾 子会社	市場参入、機器設置へのプロモーション活動	上市予定

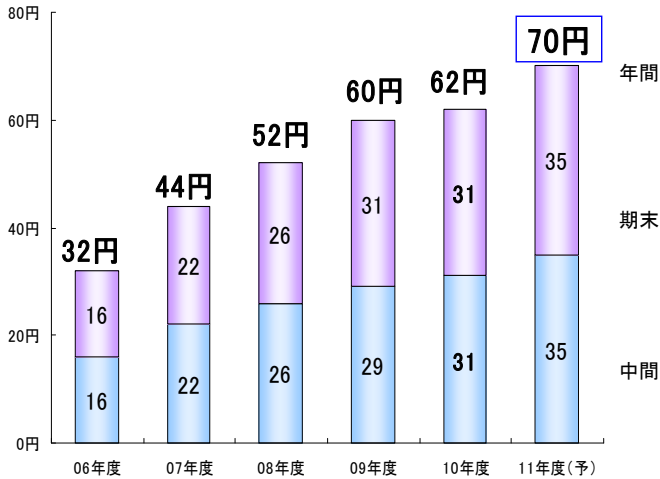
■ CL機器設置台数の推移(台)



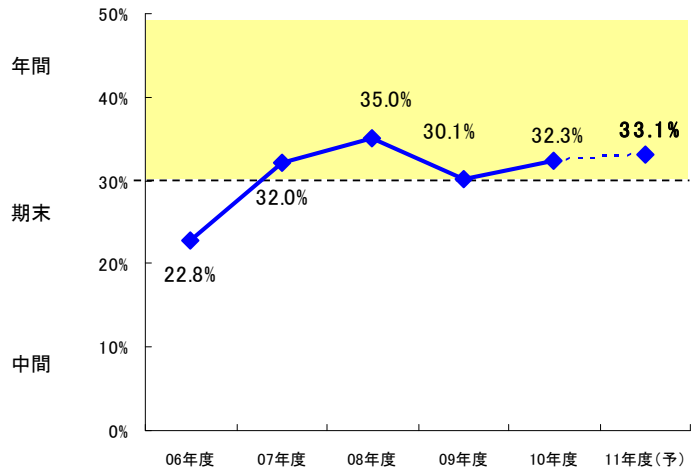
配当予想について

中間配当額は前年より4円増配。年間配当額は70円を予定。

■1株あたり配当金の推移



■配当性向の推移



連絡先：

みらかホールディングス株式会社

IR広報グループ TEL:03-5909-3337

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。